

四極会支部だより

38人出席 3年ぶりの歓喜

北九州四極会

新型コロナウイルス感染症の拡大により開催を見送つてきた

「北九州支部総会」を3年ぶりに令和4年6月16日(木)に「JR九州ステーションホテル小倉」にて開催した。懇親会は料理を個別のお重形式での提供、アルコール類の提供をおこなわ

ないなどの感染防止対策のもとで開催した。当日は、大学より高見経済学部長、四極会本部より相良名誉会長、野々下理事をお迎えして、総勢38名で開催された。今年も北九州支部として取り組みを始めた、他学部を含めた「大分大学合同同窓会」をあわせて開催した。総会では1年を振り返つての会務報告が令和3年から幹事長となつた木村から行われたのち、令和3年度の収支報告および令和4年度の収支予算が報告され、承認され

た。

総会に引き懇親会が行われ、

令和3年から北九州支部の新会長となつた久保会長ならびに橋前会長にそれぞれ挨拶をい

ただいた。来賓からは相良四極

会名誉会長、高見経済学部長、野々下四極会理事にご挨拶をいた

乾杯のご発声は、医学部玉樹会北九州支部のお世話をいただ

いている九州労災病院の今村寿

宏先生に合同同窓会を代表して

ご発声をいたいた。今回も医

学部から7名、教育学部から2

名の参加をいただき、目指すべ

き合同同窓会の形に近づいてき

た。また、経済学部も初参加が

6名もありフレッシュな合同同

窓会となつた。

懇親会では、今年1月に

100歳の誕生日を迎えた

黒土先輩の第一交通産業株の創業から現在に至るまでを振

り返るDVD「炎の人生黒土始

ストーリー」を有志で作成し上

映をおこなつた。今回は感染防

止対策により着席式で短時間の

開催であつたため、十分な交流ができなかつたが、久しぶりに集まれたことであらためて母校

を想う連帯感を強くする機会となつた。

いよいよ懇親会も終わりに近づき、これから北九州での教育

学部豊友会のお世話役で期待さ

れる小田直哉氏の音頭による万

歳三唱で締めくくつた。

北九州支部では、四極会支部活動のモデルになれるよう、引き続き新たな取り組みを続けていきたいと思つてゐる。

■出席者（敬称略）
【来賓】相良浩四極会名誉会長（大12）、高見博之大分大学経済学部長、野々下俊明四極会理事・100周年実行委員会委員長（大12）

【会員】黒土始（高商18）、花田良繼（大4）、鵜池寛（大7）、板橋紘平（大15）、川原達男（大15）、篠原利夫（大15）、吉永一（大21）、久保惠一（大21）、秋田嘉憲（大22）、浜口広幸（大24）、赤坂英典（大26）、樋上弥寿子（大28）、寺田謙次郎（大

32）、木村靖（大40）、吉田修（大41）、中村恭子（大42）、堀川和美（大43）、廣瀬富喜（大45）、南里肇（大49）、安部政俊（大49）、大庭周一郎（大51）、秋永繁（大55）、花畑孝彦（大57）、小川則幾（大61）、北川健悟（大64）、黒永裕也（大65）

（昭和62年）、石橋照三（平成1年）、石井義輝（平成2年）、近藤克洋（平成5年）、今村寿宏（平成6年）、横原康亮（平成19年）、小田直哉（平成6年）、恵良悠理（平成26年）

【医学部】河野公俊、高野裕士
【医学部】河野公俊、高野裕士
（木村靖 記）



黒土始さんを中心に、元気な皆さんのが集まりました